

2018年11月15日287号

東職女性部発行

ひ ま わ り



## 12月19日(水)18:00～ 今年も講習会が開催されます

いよいよ2018年もあとひと月半です。皆様いかがお過ごしでしょうか。しばらくご無沙汰いたしておりましたことを心よりお詫び申し上げます。

このたびうれしい企画を提案いただきました。昨年に引き続き今年も手作り体験講習会の開催をご連絡申し上げます。

長らく愛されてまいりました「生け花体験教室」同様、季節のお花を楽しみたいと思います。男性の方も大歓迎です。奮ってご参加下さいますようどうぞよろしくお願い申し上げます。なお講師として昨年に続きまして、田村恭子さん（谷中のお花屋さん「コトハナム」）をお迎えいたします。

## クリスマスリース&お正月飾りを作しましょう

手作り体験を楽しみましょう。お正月仕様にもできます

日時 : 12月19日(水) 18:00～19:30 (開場17:45)

会場 : 東職書記局

材料費 : 2000円

主催 : 東職女性部



とっても大事な



です。

あらかじめ材料準備が必要となります。12月14日(金)までに東職書記局にお申し込みください。

講習会終了後に講師の田村さんを囲んで茶話会(参加費は300円です。)が予定されております。

参加ご希望の方はお手数をおかけいたしますが、お申し込み時にお知らせください。

TEL&FAX : 03-5841-7971

Email : syokikyoku@tousyoku.org

URL : <https://tousyoku.org>

少しずつ



男女共同参画基本データ（構成員男女比も含みます）を公開いたします。

東職女性部では毎年 1. 構成員（職員）の男女比調査、2. 男女共同参画基本データ（育児・介護休暇や休業に関する具体的数値）3. その他男女共同参画に関連した進展状況、問題点などの調査を行ってまいりました。大学本部からは7月11日に詳細な回答をいただきました。

「ひまわり」紙面を利用して、そのデータ全てをお知らせできればと考えています。また他の大学の状況と比較検討したいと思えます。

毎年申し上げておりますが、これらの貴重なデータが蓄積されています。有効な活用方法を模索しております。女性部としては大学本部で発行されております「**東京大学におけるワーク・ライフ・バランス支援ハンドブック**」の利用法も皆様とともに考えたいと存じます。このハンドブックは現在上司用と本人用が発行されています。また東京大学本部からは今後も必要に応じた改訂版の発行があるとの回答をいただいております。これからの女性部の活動その他に関しまして、ご意見・ご要望をお寄せいただけませんか。どうぞよろしくお願い申し上げます。

### その1. 出産に関連して

育児休業取得人数 ( ) 内は2016年度のデータ

取得期間	教職員		短時間有期雇用教職員	
	男性	女性	男性	女性
～1月	0 (6)	57 (59)	0	2 (0)
～6月	9 (4)	61 (58)	0	16 (15)
～12月	1 (3)	95 (86)	0	15 (12)
～2年	0 (1)	79 (79)	0	1 (0)
2年～	0	0	0	0
総計	10 (14)	292 (282)	0	34 (27)

育児休業は男性、女性の教職員ともに取得することができます。ただし、短時間有期雇用教職員（満1歳と6月まで）と教職員（満3歳まで）では取得期間、取得方法等が異なります。

男性の取得数2桁が続きました。

	出産時の休暇制度について				
	産前産後休暇*			配偶者出産休暇	
	産前・産後期間	非常勤給与の有無	代替制度の活用*	取得期間	取得人数
目標	8週・8週	有給	-	7日間	-
東京大	6週・8週	無給	21名	7日間	30名

\*非常勤（短時間有期雇用）教職員の方にも代替制度を活用することのできる大学があります。

\*条件付きですが、非常勤教職員の方が有給で産前産後休暇を取得できる大学があります。他大学では産前休暇期間8週が主流になりつつあります。